

# ほっこり わくわく 民話の旅にでかけよう!!!

## 〜 広瀬民話めぐりウォーキング 〜

狭山の民話を広めるプロジェクトが発足して3年目  
いよいよ公募による民話めぐりウォーキングが実施されます

日時=11月9日(土) 午前9時20分~午後12時30分

内容=広瀬地区の史跡をめぐり、そこに伝わる民話を聞いたり、「馬車鉄唱歌」を歌ったりする。

コース=広瀬神社集合 → 松森稲荷 → 禅龍寺 → 清水宗徳の墓 → 広瀬神社

対象=小学生以上(ただし小学生は保護者同伴)

定員=30名 費用=500円(保険・資料) 持ち物=歩きやすい服装・飲物

応募方法=電話にて 090-6162-1662(横山)

当プロジェクトは「狭山の民話を多くの人に知ってもらい、ふるさと狭山への愛着をもってほしい」という思いでスタート。まずは「本になっているお話の場所に行って語ってみよう」と各地区をめぐった。それが今回民話めぐりウォーキングとして、一般市民の参加を広く呼びかけて実施するに至る。しかし公募となると、参加者の交通の便、トイレなど多方面にわたり考えておかなければならない事がある。綿密な計画を立て、参加された方に「心に残る ほっこり わくわく」を体験していただきたい。

そもそも私たちが「民話を語りたい、伝えたい」という気持ちになったのは、狭山在住の作家三名の、宝のような著書との出会いが始まりである。人から人へと口承で伝えられた昔話が消え失せようとしていることに危機感を持ち、文字によって書き残す活動を何十年もしておられる今坂柳二氏は、狭山・入間・飯能等の昔話を170編も書かれている。池原昭治氏は全国の民話を童絵という独特な絵で表現していらっしゃるが、その為につぶさに昔話を採話し、特にご自分が住まう狭山に関しての作品数は数知れない。さねとうあきら氏は民話作家として多くの本を出版され、文団連のために、狭山の民話を独特の宇宙観を持った創作民話として書き下して下さっている。

それらの作品を狭山市民に魅力的に伝えていくには、民話の読み込みは欠かせず、当然実施計画も必要だ。しかし、それは意味深く、やり甲斐のあることでもある。

狭山の民話を広めるプロジェクト 小川豊子



- ◎ 一緒に活動して下さる方を募集しています。
  - スタッフ：今後の計画を立てるなど運営面の活動
  - 語りべ：民話を語る
- ◎ 狭山の各地域に、言い伝えのような話があったら教えてください。